

スイートコーンのアワノメイガに対する生物農薬の防除効果

【1 成果概要】

スイートコーンにおけるアワノメイガの防除開始時期は、第 1 世代孵化盛期であり、県中部では 6 月 6 半旬～ 7 月 1 半旬と推定されます（図 1）。

生物農薬（BT 水和剤）を用いて第 1 世代孵化盛期より 7 日間隔で 3 回の散布を実施することでアワノメイガへの防除効果が認められますが、化学合成農薬 2 回散布に比べて効果は同等からやや低くなります（表 1）。

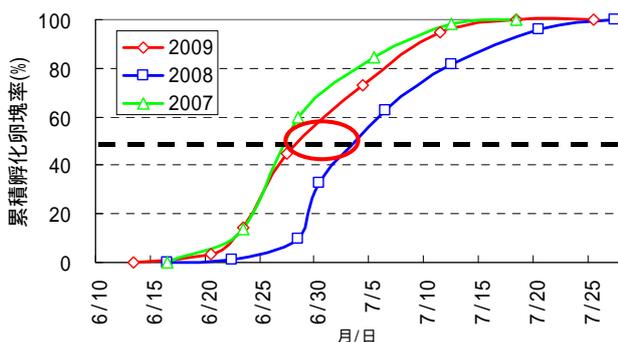


図 1. 岩手県中部におけるアワノメイガ第 1 世代孵化消長

表 1 アワノメイガへの薬剤防除効果 (例)

試験区	希釈倍数	散布日			食入茎率 (%)
		6/29	7/7	7/14	
生物農薬 トアロー水和剤CT 3回散布	1,000倍				17.3 27
化学合成農薬 トアロー水和剤CT 2回散布	1,000倍			-	26.6 41
スミチオン乳剤	1,000倍			-	8.7 13
無処理	-	-	-	-	65.1

表中のゴシックは対無処理比を示す

【2 効果】

アワノメイガへの適期防除を可能にします。
化学合成農薬を削減したスイートコーンの安定生産に寄与します。

【3 留意事項】

- 生産現場では孵化盛期を把握することは困難ですので、上位葉に孵化幼虫の食痕が認められる頃を防除開始時期として下さい（図 2）
- スイートコーンのアワノメイガに適用のある生物農薬（BT 水和剤）は、トアロー水和剤 CT、サブリーナフロアブル、エスマルク DF です（平成 21 年 11 月 18 日現在）

【4 適応対象】

- 地帯 県内全域
- 対象者 普及センター等の営農指導者

【5 導入コスト】

表 2 を参照ください

表 2 薬剤コスト

	商品名	薬剤コスト (円/10a)
生物農薬 (BT 水和剤)	トアロー水和剤 CT	9016
	サブリーナフロアブル	7607
	エスマルク DF	5519
化学合成農薬	スミチオン乳剤	2029



図 2. アワノメイガ孵化幼虫の食痕